紙のピアノ

国は 無い柱に大時計 無い付いると音が鳴ったよで がのピアノがありました がのピアノがありました がのピアノがありました のピアノは母の愛の歌

作曲: 伊藤薫作詞: 佐野源佐衛門一文

紙 のピアノ

紙す今黒1

紙ポポポ開 ロロけのすもい リリるピけか柱 ロポ泪とアたわに リロが音ノ壁ら大 ボ落ががのぬ時 口ち鳴あ子故計 まつり供郷 したま部の たよし屋 でた

いピポ 愛は の母 歌の

紙 のピアノ

文

2/3

鍵長し駄庭 いた々 ね

紙ポポ母マふ眠ピ辛 ロのジたっア リ手ッつたノ ポ作ク折次買活 り書りのう母 ポ涙きし朝て子 あのたでと

しし だノ は は聴こえい てが た

のピアノ

雪

夢つ し顔をがだえかといか小 立た気ぱ母が の一月の一言をいる。お母がとうおりがとう。まりがとう。 う

嬉笑 ポう売う

うかの娘は は 弹 屋す